

時間預託活動 (1月度)

	提供活動	コーディネート	事務所当番	その他	当月計	年度計
時間数	59	0	0	35	94	963
人数	9	0	0	5		

奉仕活動 (1月度)

	福祉活動	子育て	ナルク活動	その他	当月計	年度計
時間数	0	0	0	0	0	309
人数	0	0	0	0	0	

読めますか？

強ち 苟も 所謂 況や

徐に 凡そ 予て 実に

拳って 尽く 確り 暫く

頗る 凡て 恙ない 途ても

あながち いやしくも いわゆる いわんや

おもむろに およそ かねて げんに

こそって ことごとく しっかり しばらく

すこぶる すべて つつがない とても

時事川柳

(岐阜新聞入選作)

- *悔しさをバネに飛躍の金メダル
- *ほっとして緩んだ先に第六波
- *砲弾に怯えて寝れぬ長い夜
- *聞く耳に補聴器つけてほしかった

はっとり勝弘

(ナルク会員・岐阜市議会議員)

日本の名画⑤

タケウチ セイホウ
竹内栖鳳

「班猫」1924年(大正13)



画家が絵筆を執る場合、大略これを二ツに別けることができるだろうと思う。第一の場合は、その画家の長い間の画的な生活から、観察や写生の上から、今描こうとするものが、すっかり呑み込めていて、猫も看ず、スケッチを参考とせず、思うままに描いてしまう場合。第二の場合は、心と猫をみて、その瞬間、「猫を描こう」と決心して、その生きた猫を手本として描く場合。わたしの描いたあの猫はこの第二の場合である。》

(栖鳳閑話より)

栖鳳がたまたま沼津で見かけた猫が気に入り、どうしても描きたくなって、種々の手段を講じて、その猫を手に入れ、京都まで連れ帰り、日夜座右を遊歩させて、細緻を極めた画質にうつつして、この逸品を描き上げました。

昭和12年(1937) 第一回文化勲章受章

昭和17年(1942) 没 享年七十九才

松下幸之助(一日一話より) 夢中の動き

「この観音さまはノミがつくってくれた。自分は何も覚えていない」というのは、版画家、棟方志功さんの言葉である。私はたまたまこの棟方さんが観音さまを彫っておられる姿をテレビで拝見し、その仕事に魂というかすべてをつぎ込んでおられる姿に深く心を打たれた。一つ一つの体の動きが意識したものでなく、まさに“夢中の動き”とでもいうか、そんな印象を受けたのである。その姿から、人間が体を動かしてする作業というものの大切さをつくづくと感じさせられた。機械化に懸命な今日だからこそ、魂の入った作業というものの大切さを、お互いに再認識する必要があるのではないだろうか。